年　月　日

担い手確保・経営強化支援事業　申請用紙（１／３）

所属農協　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

１　事業

|  |  |
| --- | --- |
| 担い手確保・経営強化支援事業 | 上限　個人1,500万、法人3,000万 |

　※補助率は50％（1/2）です。

２　導入機械の取得時期等

　導入する機械とその使用、取得時期、金額（概算）を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入機械の仕様 | 取得時期 | 税抜概算金額（千円） |
|  | ※令和２年３月中に取得できるものに限ります。 |  |

※導入機械は仕様と作業能力を必ず記入して下さい。また、既存の機械を所有している場合は併せて記入願います。

例　TOP-1ポテトハーベスタ　作業能力○○ha/時間（カタログ数値で記載）

３　目標設定

（１）必須目標

　必須目標はＨ30年度の税申告から計算して記入してください。また、今後の営農計画等から判断し、３年間で何％増加できるかを記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 必須目標 | 現状Ｈ30年実績 | 目標年度Ｈ33年 | ポイント | 備考 |
| 付加価値額の拡大 | 　　　　　　　万円 | 　　　　　万円 | 点 | 付加価値とは、青色申告等において「収入総額－費用総額＋人件費」と計算して得られる数字をいいます。　ポイントは別紙を参考に計算してください。 |

担い手確保・経営強化支援事業　申請用紙（２／３）

所属農協　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

（２）選択目標

　　下表①～⑤から目標を選択し、例を参考に入力してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 選択目標 | 現状Ｈ30年実績 | 目標年度Ｈ33年 | 選択した理由 |
| 例：①経営面積の拡大 | 100ha | 115ha | 例：需要の見込まれる新品種の馬鈴しょを増産するために経営面積の拡大を行うにあたって、作業体系を確立させるために当該機械を導入する。 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

○選択目標表

|  |  |
| --- | --- |
| 成果目標 | 内容 |
| ①経営面積の拡大 | 利用権の設定等又は農業の受託により経営面積を拡大する。 |
| ②農産物の価値向上 | 新品種の導入、栽培管理技術の改善等による農産物の品質の向上、加工や契約栽培等の新たな販売方式の導入等により農産物の価値向上に取り組む。又は、輸出（他の事業者との連携を含む）、異分野の事業者との連携等により農産物の新たな市場の開拓等に取り組む。例：現状→契約栽培０社　目標→契約栽培２社に増加させる。 |
| ③農業経営の複合化 | 土地利用型作物の生産、園芸作物の生産、畜産経営などを組み合わせた複合的な農業経営の展開等に取り組む。又は、収益性の高い品目の導入・拡大に取り組む。例：現状→畑作専業　目標→畑作・野菜複合 |
| ④農業経営の法人化 | 目標年度までに法人化する。例：現状→家族経営　目標→法人化 |
| ⑤輸出の取組 | 目標年度までに農産物の輸出に取り組む。 |

担い手確保・経営強化支援事業　申請用紙（３／３）

ポイント算定表

所属農協　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　電話

　ポイント算定のため、以下の設問に回答してください。なお、「①経営面積の拡大」は、別紙を基にポイントを計算して記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 設問 | 回答 | ポイント |
| 共　　　通 | ①経営面積の拡大 | 平成28年度から平成30年度の間に経営面積が増加している。 | はい／いいえ | 　点（別紙参照） |
|  | 農地中間管理機構から賃貸借権等の設定を受けている。 | はい／いいえ |
| 平成33年度までに、経営面積を増加する予定がある場合、何haかを右に記入してください。 | 　　　　　　　　ha |
| ②経営管理の高度化 | 現在、法人化しているか、目標年度までに法人化する。 | はい／いいえ | ２点 |
|  | ＧＬＯＢＡＬＧ．Ａ．Ｐ又はＡＳＩＡＧＡＰの認証を取得している。 | はい／いいえ | １点 |
| ③輸出の取組 | 農産物の輸出に取り組んでいる（他者との連携による取組を含む。）、又は承認されたグローバル産地計画に基づく機械等の導入である。 | はい／いいえ | ２点 |
| 農産物の輸出に取り組むこととしている（他者との連携による取組を含む。）。 | はい／いいえ | １点 |
| ④新規就農 | 事業実施年度に就農、又は就農後５年度以内である。 | はい／いいえ | ２点 |
|  | 上が「はい」である場合、50歳までに就農した。 | はい／いいえ | ２点 |
| 目標年までに農業次世代人材投資事業の交付を受けない。 | はい／いいえ | １点 |
| ⑤農業者の育成 | 今後国内で農業を行う予定の農業研修生を受け入れている。 | はい／いいえ | １点 |
|  | 受け入れた研修生が過去５年以内に独立し、認定就農者又は認定農業者となった実績がある。 | はい／いいえ | １点 |
| ⑥女性の取組 | 次の３つのいずれかに該当する。・経営者が女性である。・法人の場合、代表者が女性であるか、役員若しくは構成員のうち女性が過半を占めている。・法人の場合、女性が事業対象作物の責任者である。 | はい／いいえ | ３点 |
|  |  | 合計点数 | 　点 |

別紙　ポイント計算方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | ポイント |
| 付加価値額の拡大 | 現状ポイント |
| 平成30年度税申告における付加価値額を計算し、選択してください。○基準額：600万円○計算方法：収入総額－費用総額＋人件費 | 基準額以上（600万円以上） | １点 |
| 基準額の50％増し（900万円以上） | ２点 |
| 基準額の100％増し（1,200万円以上） | ３点 |
| 基準額の200％増し（1,800万円以上） | ４点 |
| 基準額の300％増し（2,400万円以上） | ５点 |
| 基準額の400％増し（3,000万円以上） | ６点 |
| 目標ポイント |
| 現状の付加価値額から、目標年度までに何％増加させるかを選択してください。 | 13％以上 | １点 |
| 15％以上 | ２点 |
| 20％以上 | ３点 |
| 25％以上 | ４点 |
| 30％以上 | ５点 |
| 35％以上 | ６点 |
| 40％以上 | ７点 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | ポイント |
| 経営面積の拡大 | 平成33年度までに面積を増加させる場合、何haかを選択してください。 | 中間管理機構から貸借権等の設定を受けていない場合 | ２ha未満の増加予定 | １点 |
| ２ha以上の増加予定 | ２点 |
| ４ha以上の増加予定 | ３点 |
| 中間管理機構から貸借権等の設定を受けている場合 | 面積増の予定なし | ２点 |
| ２ha未満の増加予定 | ３点 |
| ２ha以上増加予定 | ４点 |
| ４ha以上増加予定 | ５点 |